

令和2年度

施政方針



令和2年度の予算が2月定例市議会
で成立しました。後藤市長は本年度の
予算説明を通じ、市政運営の基本的な
方針並びにその主要施策などについて
所信の一端を述べ、市民の皆さんの市政
に対する深いご理解とご協力をお願い
しました。その趣旨は次のとおりです。

「平成」から「令和」へと元号が変わ
り、本年は東京2020オリンピック・パ
ラリンピック大会が開催される記念すべ
き年となります。市民の皆様にとつても
明るい元気に満ちた1年になりますよ
うに、全力投球してまいれる所存です。
さて、国においては、日本経済の先行
きについて、緩やかな回復が期待される
ものの、消費税率引き上げ後の経済動
向を注視するとともに、台風等の被害
からの復旧・復興の取り組みをさらに加
速するとあり、財政健全化への着実な
取り組みを進める一方で、賃上げの流れ

と消費拡大の好循環、外需の取り込み、
設備投資の拡大を含めた需要拡大に
向けた取り組みや、ソサエティ5.0時代に
向けた人材・技術などへの投資やイノ
ベーションの促進、次世代型行政サービ
ス等の抜本強化といった生産性の向上
に向けた取り組みを推進しています。

また、災害からの復旧・復興と安全・
安心の確保、未来への投資と東京オリ
ンピック・パラリンピック後も見据えた経済
活力の維持・向上を柱とし策定された
「安心と成長の未来を拓く総合経済対
策」に基づく取り組みを、機動的かつ万
全の対策とし、持続的な経済成長の実
現につなげていくとされています。

本市においても、引き続き国の動向
を注視しながら、市民の皆様のご理解
とご協力をいただき、市民サービスの向
上に努めてまいります。

次に、令和2年度の主要な取り組み
について申し上げます。

安全・安心なまちづくり

長年の懸案事項でありました防災
行政無線の戸別受信機整備事業が昨
年実施され、今年度は、いよいよ市庁舎
の耐震改修工事に着手してまいりま
す。大規模災害発生時には、災害対策・

災害復旧業務の拠点として重要な役
割を担う庁舎の補強工事を実施する
ことで、安全性・耐震性を確保し、市民
の皆様の生命・財産を守るべく災害対
策の強化・多重化に取り組んでまいり
ます。

また、し尿の公共下水道へのつなぎ込
みについても、昨年、前処理施設の整備
事業が終了し、安定稼動に取り組んで
います。今年度、受入槽等の防食塗装
を実施し、引き続き吉富町・上毛町の
両町に対して、参加共同運営の提案を
行つてまいります。

健康・福祉の充実

人生百年時代を見据えた「生涯現
役社会づくり」の施策に取り組んでま
います。高齢者が活動的で生きがい
のある生活や人生を送ることができ
よう健康教室・介護予防教室などの充
実に取り組みます。また、住み慣れた
地域で安心して生活を送ることができ
るよう地域の支え合いの仕組みづく
りを推進してまいります。

健康増進につきましては、健診や健
康教室などの保健指導を通して、生活
習慣病予防・重症化予防を図ります。
特に、糖尿病重症化予防のため個別指
導、フォローを実施してまいります。健

診・がん検診の受診率を向上させ、医療
費の抑制に努めてまいりますので、皆様
のご理解とともに健診受診へのご協力
をお願いいたします。

子育て支援につきましては、妊娠期
から子育て期に渡るまでの切れ目のな
い支援を実施するため、子育て世代包
括支援センターにて新たに産後ケア事
業に取り組みます。母親の身体的回復
と心理的な安定を促進するとともに、
母親自身がセルフケア能力を育み母子
とその家族がすこやかな育児ができる
よう、きめ細やかな支援を行つてまい
ります。また、子育て世代の経済的負担
を軽減するため保育園・幼稚園の副食
費助成や吉富町との共同利用による病
児保育に取り組んでまいります。

産業の振興

観光の活性化につきましては、観光の
中心となつていようみでらす豊前や道の
駅豊前おこしかけ等さらなる来客数の
増を目指すとともに、観光案内所を活
用して求菩提温泉・仙の郷や求菩提
キャンプ場などに回遊していただく流れ
を作つてまいります。今後も、森林セラ
ピーなどを通して、リピーターや関係人
口の獲得に努めてまいります。

農林水産業につきましては、豊前市
獣肉処理加工施設において本格的な鹿
肉・猪肉の商品化が始まり、さらに流通
販売を行える新たな地域資源として、
PRや販路拡大に取り組んでまいりま

す。また、災害防止・国土保全機能強化等の観点から森林環境譲与税等を活用した森林整備に努めてまいります。

市内の農業用ため池につきましては、国が示す選定基準に基づき防災重点ため池の選定作業を行いました。現在、ため池マップ、浸水想定区域図を公表しているところです。今後、ハザードマップの作成に取り組みことで住民の防災意識の向上を図ってまいります。

企業の振興につきましては、本年より、国内最大級の豊前バイオマス発電所が本格稼動しており、新たな雇用の拡大が期待されます。



道の駅 豊前おこしかけ「観光案内所」

教育・文化の充実

教育につきましては、令和2年度より小学校・中学校で活動型の外国語活動の導入、高学年で教科型の外国語科が実

施されます。ALT(外国語指導助手)を活用して、未来ある本市の子供たちの外国語力育成を目指し、楽しく充実した学びになるように学習環境の整備に取り組みます。

中学生のハワイでのホームステイ事業につきましては、国際感覚を持った人材育成のため、継続実施し、あわせて今年度は、受け入れ交流を実施し、コミュニケーション能力の向上とともに英語学習への意欲向上に努めてまいります。



地域づくり協議会 会議風景

豊前市生涯学習推進基本計画に沿って進められている地域づくり協議会は、令和元年12月末現在6地区で設立され、地域づくり計画の策定、地域活性化事業への取り組みが順次開始されています。各地域における協働の地域づくり計画として取り組むことで、地域課題の共有・解決、並びに地域コミュニティの維

持強化を図りたいと考えています。

さらに、史跡求菩提山につきましては、平成30年度より山中に残されております数少ない建造物である瀧蔵坊(りゅうぞうぼう)の保存修復に着手しており、今年度が最終年になります。今後、その活用について整備基本計画の方針に従い、具体的な検討を進めてまいります。

以上、申し上げてまいりましたとおり、新しい時代に向かつて心を新たに、全庁をあげて取り組んでまいりますので、議員並びに市民の皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

* * * * *

新型コロナウイルスが世界を震撼させ、豊前市にも「いつ来るのか」との恐れをもたらし騒ぎです。

小中学校の休校だけでなく各種催事、行事の自粛とそれに伴うはずの懇親会類の取りやめなどで市内の飲食店をはじめ3次産業、さらに素材提供の1次産業まで大きな打撃を受けています。市として、県の情報を先取りし、関係団体と連携しながら迅速に対応していきます。

このコロナウイルスは根本治療薬開発ができれば終息の可能性があると聞いています。1日でも早くそんな日が来ることを願いつつ、いざという時のために万全を尽くします。

一人ひとりが、免疫力、抵抗力ある身体をつくって頑張りましょう。